

気づき、考え、実行する。

# いしかわ青少年赤十字ニュース



しょう・ちゅうがくせいごう  
小・中学生号



2016年3月発行  
日本赤十字社石川県支部

## 青少年赤十字加盟校の活動

### 自然の恵みをおすそ分け

わじましりつもんぜんにししょうがっこう  
輪島市立門前西小学校

本校の全校児童42名が心を込めて育て、収穫したさつまいも。「この自然の恵みを地域の皆さんにもお裾分けしたい。」そんな気持ちで始まったのが、特養老人ホームへのプレゼント訪問です。11月に6年生が2カ所を訪問し、イモの贈呈・歌と合奏・手紙の朗読をしました。

毎年の訪問で、老人ホームの方々に喜ばれ、児童もボランティア活動のきっかけとしていい体験になります。今後も本校の伝統として長く続いていくことを願っています。



### 学級対抗で回収量アップ!

こまつしりつしょうようちゅうがっこう  
小松市立松陽中学校

松陽中学校JRC委員会では、エコキャップ・プルタブ回収を毎年実施し、毎月の委員会で、キャップの個数を数え、プルタブの重さを計ります。また、半期毎に集計結果を発表し、全校集会で上位3学級に表彰を送っています。エコキャップはワクチンに、プルタブは換金され車いすに変わるといこと小松市社会福祉協議会に届けます。

学級対抗で競うことで、今年度は、昨年度より、エコキャップが約20kg 増え、回収活動も活発化しています。また、緑の募金や歳末助け合い募金も積極的にを行っています。



### 心の手紙大作戦

かなざわしりつおのおのまちしょうがっこう  
金沢市立大野町小学校

毎年、地域のお年寄りに寒中見舞いのはがきを出しています。冬の寒さに負けないようにと励ましの気持ちを込めて全校児童が行っています。

お返事の手紙等が沢山届きますが、いずれも丁寧な感謝の気持ちが書かれています。

それを読むと益々思いやりと感謝の気持ちが強くなり、正に絆を育む相互交流ができていますと感じます。



### 自分で守る「大切ないのち」

防災教育プログラム  
「まもるいのち ひろめるぼうさい」

かなざわしりつせいなんぶちゅうがっこう  
金沢市立西南部中学校

3年5組では、道徳の時間に「愛する海・私たちの街」をテーマに、グループで紙芝居を作成・発表しました。生徒たちは、互いに知恵を出し合い、紙芝居のストーリーを完成させるなかから、かけがえのない自然について、その大切さや美しさ、また、災害の怖さについて学びました。

ななおしりつたつばなちゅうがっこう  
七尾市立田鶴浜中学校

避難訓練の前に、1年生から3年生、全てのクラスで「地震から身を守ろう」をテーマに、学校にある「倒れてくるもの」や「落ちてくるもの」などを話し合い、それらから身を守る方法を考えました。地震が起きた時に、どのような危険があるのか事前に学んでいたことで、非常に充実した訓練となりました。

こまつしりつたいぬまるしょうがっこう  
小松市立犬丸小学校

4年生が、学活の時間に「災害時シミュレーション」を行い、避難するときを持って行くものをグループで考え、全員で意見交換をしました。帰宅後は、各家庭で非常持ち出し品や集合場所などを話し合い、家族みんなで防災意識を高めることができました。



### 支部主催宿泊研修会「トレーニング・センター」

平成27年7月27日(月)～7月29日(水)、国立能登青少年交流の家にて、『青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催しました。

この行事は、集団生活を通して、参加者の「気づき、考え、実行する」力を養い、学校や地域における「よきリーダー」を育てることを目的に毎年開催しています。

今年度は、赤十字についての学習の他にも、防災学習や東日本大震災の被災者の方々に対する応援メッセージカードを作ったりしました。



防災教育プログラム



キャンプファイア

避難をする時に必要なものをみんなで考えました。

野外で楽しみながら学習するメニューもあります。

### 児童の感想

災害のときは、他人に助けを求めず自分で行動して、命を守らなきゃいけないんだなあと改めて思いました。命を守ることはすごく大切なことなので、いろいろな気をつけたいと思います。

小松市立犬丸小学校 杉山 もえ華